

工作機械工業 収益状況集計

(2015年度 第2四半期)

会員企業のうち2015年11月末迄に2015年度第2四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業16社を集計。集計調査対象企業における専業比率は、87.5%。なお、今年度は連結対象の変更と決算月変更に伴い、前年度から1社減となっている。

1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要(16社)

(単位：百万円・%)

	15年度 I 期	15年度 II 期	15年度 I ~ II 期	前年同期比	14年度 I ~ II 期
売上高	155,012	180,077	335,089	+9.1	307,009
売上総利益	44,755	53,110	97,865	+15.4	84,794
売上総利益率	28.9	29.5	29.2		27.6
営業利益	9,442	16,939	26,381	+36.4	19,346
営業利益率	6.1	9.4	7.9		6.3
経常利益	10,326	15,509	25,835	+28.4	20,118
経常利益率	6.7	8.6	7.7		6.6
当期利益	7,524	10,615	18,139	+20.8	15,015
当期利益率	4.9	5.9	5.4		4.9
総資産	941,957	929,739	929,739	+4.2	892,469
純資産	512,094	508,527	508,527	+9.7	463,758
自己資本比率	54.4	54.7	54.7		52.0
自己資本 当期純利益率 (ROE)	5.9	8.3	7.1		6.5

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I ~ II 期計・前年同期比) (16社)

(単位: 社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	12	4	16
売上総利益	10	6	16
営業利益	10 (0)	6 (2)	16 (2)
経常利益	9 (0)	7 (3)	16 (3)
当期利益	9 (0)	7 (3)	16 (3)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2015年度通期見通しの概要

表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要（16社）

（単位：百万円・％）

	2015年度通期見通し			2014年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	721,938	708,325	+4.5	678,064
営業利益	62,790	58,498	+13.6	51,491
営業利益率	8.7	8.3		7.6
経常利益	62,362	57,596	+5.8	54,443
経常利益率	8.6	8.1		8.0
当期利益	43,740	40,123	△3.0	41,361
当期利益率	6.1	5.7		6.1

表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）

通 期 (対前年度比)	増収増益	8 社 (4 社減)	増収減益	4 社 (3 社増)
	減収増益	1 社 (1 社減)	減収減益	3 社 (2 社増)

※（ ）内は、第1四半期時点からの増減社数

◎第1四半期時点からの修正理由

【売上高、経常利益とも上方修正 …2社】

- ・円安の影響を受け輸出が増加したこと等により、売上高が当初予想を上回る見込み。また、売上高の増加により、各利益も増加。
- ・第2四半期累計は、売上高が前回予想を若干下回る見込みだが、利益は、前期より引き続き実施しているコストダウンや生産効率の向上による原価率の改善により、各種利益について前回予想を上回る見込み。通期の業績予想も、内需・外需ともに引き続き堅調に推移すると見込まれることから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について前回予想を上回る予想に修正。

【売上高横ばい、経常利益は上方修正 …1社】

- ・第2四半期累計期間の業績結果、受注状況、今後の見通しと、受注、費用見込により業績予想の見直しを行った結果、各種利益が前回予想を上回る見通し。

【売上高は上方修正、経常利益は下方修正 …2社】

- ・第2四半期累計の業績及び、下期の受注内容が利益率の低い専用機の割合が増える見込みのため。
- ・中国経済の減速懸念などがあるものの、米国を中心に全体として緩やかな回復が続くものと予想。

【売上高、経常利益とも下方修正 …5社】

- ・中国経済の減速により、スマートフォン関連部品加工用の追加設備投資の一部が延期となったことを受け、売上高、利益ともに予想を下回る見込み。中国以外の地域、及び自動車部品関連をはじめとする、その他の業種における受注ならびに販売見通しは、概ね計画どおり。
- ・売上高は、自動車関連メーカー向け専用工作機械が大型案件の受注により増加するものの、ハード

ディスクドライブ、スマートフォン部品メーカ及び自動車関連メーカ向け汎用工作機械が減少するため、前回予想を下回る見通し。利益面では自動車関連メーカ向け専用工作機械が、厳しい価格競争の中で受注を確保しているため採算が予想を下回り、汎用工作機械は減収により利益減となるため、各種利益は前回予想を下回る見通し。

- ・ 工作機械事業において、アジア新興国等の景気減速の影響により、海外関連の売上高が減少し、各種利益が予想を下回ると想定されるため。
- ・ 第 2 四半期累計では、中国、ロシアにおける需要の減少、研究開発に係る費用等の増加に伴う販売費及び一般管理費の増加、在外子会社の売上債権の為替評価損計上等により、各種利益が下回る。通期業績も、直近の受注動向を勘案するとともに、それに伴う操業度差異による原価率の上昇等を見込んだ結果、前回発表数値を下回る。
- ・ 第 2 四半期累計では、中国市場の減速を主因として売上高、利益とも当初予想を下回る。通期業績は、下半期も国内及び欧米市場が自動車部品関連等で引き続き堅調に推移するものと予想しているが、中国市場の回復は依然不透明につき、下半期の業績は概ね上半期の水準と予想。この結果、売上、利益とも下方修正。

3. 工作機械事業の概要

表 5 工作機械事業の概要 (16 社)

(単位:百万円・%)

	15年度		14年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	293,071	+8.9	269,112
営業利益	27,020	+31.3	20,571
営業利益率	9.2		7.6
専業比率	87.5		87.7

表 6 【参考】工作機械事業の概要 (24 社)

(単位:百万円・%)

	15年度		14年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	487,366	+8.8	448,073
営業利益	45,809	+25.2	36,577
営業利益率	9.4		8.2
専業比率	23.6		23.1

※表 5 の対象企業 16 社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率 30%以下の会員企業 8 社を加えた 24 社で集計

【調査対象会員企業（順不同）】

（専業比率 30%以上の集計対象企業）

エンシュウ株式会社
浜井産業株式会社
豊和工業株式会社
黒田精工株式会社
株式会社牧野フライス製作所
株式会社岡本工作機械製作所
OKK株式会社
オークマ株式会社
株式会社桜井製作所
西部電機株式会社
株式会社ソディック
スター精密株式会社
高松機械工業株式会社
株式会社滝澤鉄工所
株式会社ツガミ
株式会社和井田製作所

（専業比率 30%以下の集計対象企業）

株式会社アマダホールディングス
ブラザー工業株式会社
富士機械製造株式会社
株式会社不二越
株式会社ジェイテクト
株式会社三井ハイテック
株式会社オーエム製作所（ダイワボウホールディングス）
東芝機械株式会社